

# 府中校 たまねじトピックス



## 快晴の文化の日、技能祭が開催されました。

都立職業能力開発センターでは11月の職業能力開発促進月間に、「ものづくりを支える人材」を育て「競争力ある東京のものづくり産業を築く」という視点から、技能の重要性について広く都民の皆様にお伝えするため、技能祭を行っています。また、府中校ではお隣の府中市立心身障害者福祉センター『福祉センターまつり』と共同開催となっており、スタンプラリーやお互いの施設を見学し、交流を深めるいい機会となりました。当日は晴天に恵まれ、800名以上の来場者があり、大盛況でした。

### ●催し物

未来のものづくりを担う人材を育てるために、府中校技能祭では各種工作教室などが行われました。工作教室とは、いつもは職業訓練を受けている生徒が、子供たちにやさしく指導する教室です。今回は、その中から電気設備技術科と生活支援サービス科を紹介します。

電気設備技術科では、マグネシウムに塩水を垂らすことで電気を発電し走らせることが出来る燃料電池ミニバギー工作を実施しました。午前の部は技能祭開始早々に定員が埋まり、午後の部は定員15名のところ21名の方が参加を希望され、抽選となりました。

また、生活支援サービス科では、生徒が家事援助の一環として松花堂弁当を調理し、抽選で24名の方に試食していただきました。

参加できなかったみなさま、ごめんなさい！来年もお待ちしております！

### ●苗木の無料配布

例年ご好評をいただいている苗木の無料配布ですが、今年はブルーベリー、シャクナゲ、サツキ、ジンチョウゲの4種類をご用意させていただきました。

多くの方に並んでいただき、11時前には整理券配布終了となりました。今はまだ小さな苗木ですが、年を重ねるごとに庭先に彩りを添えてくれることでしょう。



電気設備技術科実習室の様子



松花堂弁当



苗木配布を待つ様子

技能祭の目的は、近隣の皆様へ日頃の感謝を伝え、求職者・在職者や在校生のご家族に、当施設を知ってもらうことにあります。また、『未来につなごう 光る技能 輝く技』のテーマのもと、近隣の子供たちに技能の大切さを伝えるイベントでもあります。今回も晴天に恵まれ、たくさんのお客様に技能を習得している在校生の姿をお見せすることができ、大成功だったと自負しております。在校生もより良い就職に向け、訓練に臨む良い励みとなったことと思います。今後とも府中校をよろしく願いいたします。